

平成25年度事業計画 基本方針

昨年暮れの政権交代により日本再生に向けた緊急経済対策が閣議決定され25年度本予算を合わせ15ヶ月予算になるなど、景気回復が本格的軌道に乗ることが期待されている。また、アベノミクスにより市場にも好影響をもたらした株価や為替の動向と合わせ早期デフレ脱却にも注目が集まっている。

一方、東日本大震災から今年まで2年が過ぎ、いまだに被災地の復旧復興は進んでいないのが実情であり、被災者の生活も今なお不自由を余儀なくされているので、一日も早い回復が望まれている。

さて、当シルバー人材センターは本年2月に創立10周年を迎え組織を挙げてこの節目の年を認識し、新たな気持ちで再出発したところである。今後の事業運営は公益目的事業を柱として真に地域から信頼されるシルバー人材センターでなければならず、地域に密着した事業の開発や提供にも積極的に関わって行く必要があり、それぞれの役割と特性に応じた事業を展開するものとする。一つには、シニアワークプログラム地域事業に取組み、高齢者の就業支援を推進して行くことである。さらには、機能強化事業の一環として就業拡大や会員加入の促進を図るための要員配置を考える。

次に、請負事業の拡大や派遣事業3年問題への取組み、そして福祉等生活支援サービス事業の拡大と充実などである。また、独自事業の充実と推進およびシルバー人材センターの特性を生かし、地域に貢献できるボランティア活動の基盤強化に努める一方、女性部会を通して女性会員の活動範囲拡大を図る。

さらには公益法人として収支相償を基本に事業運営を強化し、法令順守の徹底と安全適正就業を引き続き推進すると共に就業上のマナーと仕事の質の向上に努める。これら諸施策や課題の実施に当たっては会員、役職員一丸となって取り組んで行くものとする。

事業計画に基づく事業方針と目標は次の通りである。

第1 事業方針

1. 事業実績、会員拡大の目標数値等

区 分	目標値	前年対比
会 員 数	450人	106%
受注件数	1,400件	100%
受注契約金額	206,000千円	103%
(受託事業)	(158,500千円)	(104%)
(独自事業)	(500千円)	(125%)
(労働者派遣事業)	(47,000千円)	(100%)
就業延人員	43,000人日	100%
就 業 率	90%	100%
粗入会率	3.9%	100%

※ 「前年対比」は前年実績予測値に対する数値。

第2 事業計画

1. 雇用によらない就業機会の提供

(1)受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、公共団体、一般家庭、事務所等からの地域に密着した就業機会の提供を行う。

(2)独自事業

高齢者が独自の創意工夫により、事業を展開する。

ア. 刃物研ぎ、和洋小物作り、書道教室

イ. 新規事業として、着物着付け教室をすすめる。

2. 雇用による就業機会の提供

(1)無料の職業紹介事業

仕事を希望する一般高齢者及び会員を対象に、無料の職業紹介による就業機会の提供を行う。

(2)一般労働者派遣事業

一般労働者派遣事業の派遣元である連合本部の実施事務所として、会員を対象に一般労働者派遣事業による就業機会の提供を行う。

3. 就業に必要な知識及び技能を付与するための講習

(1)講習事業

活力ある地域社会に寄与するため、一般高齢者及び会員を対象に、希望する業務分野の技術を意欲的に習得し、就業の機会につなげていくことを目的に講習を行う。

連合会主催 S P 事業・・・一般高齢者及び会員を対象

センター主催 ……一般高齢者及び会員を対象に、年間計画に基づく技能講習会を実施する(別紙による)

第3 事業推進のための活動

(1)就業開拓提供事業

より多くの会員に就業の機会を提供するために、高齢者の知識、技能、経験を把握分析し、法令遵守を念頭におきながら、地域のニーズに対応する仕

事の受注を目指すため、以下のことを実施する。

この事業はシルバー事業強化推進事業とする。

- ア. 会員等によるチラシの全戸配布
- イ. 就業開拓担当の理事・会員による就業機会の開拓
(事業所訪問、一般家庭訪問)

(2)普及啓発事業

地域社会にシルバー事業への理解と高齢者の加入促進を図るため、以下のことを実施する。

この事業はシルバー事業強化推進事業とする。

- ア. 普及啓発月間における活動
「十三夜・魂のふるさとまつり」におけるPR
- イ. 会員によるチラシ配布
- ウ. 会報の発行
- エ. ホームページによる情報公開
- オ. シルバーフェアによるPR
- カ. 地域交流事業による地域住民との交流

(3)調査研究事業

会員の就業率の向上、発注者に対するサービス内容の改善・充実、さらには新たな就業等の活動機会の開拓の方策を研究実施するために行っており、以下のことを実施する。

- ア. 会員への意識調査アンケート
- イ. お客様満足度調査(発注者に対するアンケート調査)

(4)相談事業

一般高齢者及び会員を対象に、以下のことを実施し、就業等に関する情報を提供する。

- ア. 入会説明会 毎月1回
- イ. 就業相談 随時
- ウ. 育児相談 随時

(5)安全・適正就業の推進

品質の向上と確保を図り、事故ゼロ・クレームゼロを目指し、顧客の信頼向上に努める。毎月1日と15日を「安全の日」と定め安全意識の高揚を図り、また各就業現場において危険予知活動を行い、事故を未然に防ぐよう努

める。

- ア. 安全・適正就業委員会の実施
- イ. 安全パトロールの実施
- ウ. 安全運転講習会の実施
- エ. 安全就業講習会の実施
- オ. 安全・適正就業推進大会の実施
- カ. 安全便りの発行
- キ. 適正就業の推進(派遣事業の拡大強化)

(6)会員増強の促進

事業方針の目標値をもとに、会員の加入促進を図る。

- ア. 会員によるチラシ配布(会員募集の旨記載)
- イ. 入会説明会の実施(毎月1回)
- ウ. 町広報誌への会員募集の記載 随時
- エ. 特別会員(ゴールド会員)の奨励
- オ. 女性部会「ハナミズキ」を立上げ女性会員活動範囲の拡大を図る。

(7)ワークプラザ施設整備の具体的推進

公益社団法人移行に伴い、拠点整備はシルバー人材センターの諸活動を円滑かつ効率的に運営する上で必要不可欠である。この施設が地域の活性化策に貢献できる施設となるよう具体的に推進していく。

- ア. 施設整備調査検討委員会で調査・検討
- イ. 地元行政区及び関係諸団体との調整
- ウ. 富谷町との打合せ・具体的内容の提案

(8)福祉・家事援助サービスの推進

町が推進する子育て事業や高齢者世帯の増加がすすむ中、地域住民の福祉ニーズに応えられるよう、福祉家事援助サービスに対応できる会員の加入促進と、現会員のスキルアップを図る。

- ア. 育児支援サービス
 - 子育て者支援に繋がる親育てのお手伝いを目指す。
 - (ア)子育てサロン「ほっと育く」の継続運営
 - (イ)一時預かり
 - (ウ)子育てスキルアップ講習会の実施
- イ. 家事援助サービス
 - (ア)高齢者への家事援助(クイックサービスの拡大)

(イ)家事援助講習会

(9)社会参加活動の推進

「自主・自立、共働・共助」の精神を高めるためにも、ボランティアや社会参加を通して、地域社会への貢献と連携を深める。

ア. 子供達の安全・安心を守る巡回活動

イ. 「十三夜・魂のふるさとまつり」へのボランティア参加

ウ. 「シルバーの日」の公民館等の清掃作業

(10)事業運営の効率化及び財政健全化の推進

事業運営にあたって、業務の効率的運営を図り、また公益目的基準に適合するよう財政の健全化もあわせて行う。

ア. 不要支出の洗い出し

イ. 消費節約の励行

ウ. 会計基準の変更による、税理士の会計指導を実施